

令和6年12月八峰町議会定例会会議録（第3日）

令和6年12月13日（金曜日）

議 事 日 程 第 3 号

令和6年12月13日（金曜日）午前10時開議

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 日程の追加について

第 3 一般質問

追加日程第1 議案第115号 工事請負契約の締結について

第 4 発議第6号 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書

第 5 発議第7号 「18歳までの医療費窓口負担の無料化」を国の制度として実施を求める意見書

第 6 常任委員会の閉会中の継続審査について

第 7 議会運営委員会の閉会中の所掌事務の調査について

第 8 常任委員会の閉会中の所管事項の調査について

出席議員（12人）

1 番 笠 原 吉 範	2 番 伊 藤 一 八	3 番 奈 良 聡 子
4 番 芦 崎 達 美	5 番 水 木 壽 保	6 番 菊 地 薫
7 番 腰 山 良 悦	8 番 見 上 政 子	9 番 須 藤 正 人
10 番 門 脇 直 樹	11 番 山 本 優 人	12 番 皆 川 鉄 也

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

町 長 堀 内 満 也	副 町 長 田 村 正
教 育 長 鈴 木 洋 一	総 務 課 長 和 平 勇 人
財 政 課 長 堀 内 敬 文	企画政策課長 高 杉 泰 治
建 設 課 長 浅 田 善 孝	防災町民課長 工 藤 善 美

農林水産課長	堀 内 和 人	商工観光課長	成 田 拓 也
税務会計課長	今 井 利 宏	福祉保健課長	菊 地 俊 平
教 育 次 長	山 本 節 雄	学校教育課長	山 本 望
生涯学習課長	石 上 義 久	農業委員会事務局長	内 山 直 光

議会事務局職員出席者

議会事務局長	佐々木 高	議会事務局庶務係長	須 藤 佳奈子
--------	-------	-----------	---------

午前１０時００分 開 議

○議長（皆川鉄也君） おはようございます。

議会最終日であります。３日連続で傍聴に出席していただいている方もございます。
大変お疲れ様でございます。よろしくお願いします。

ただいまの出席議員数は１２名です。定足数に達しておりますので、これより会議を開きます。

日程第１、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、八峰町議会会議規則第１２４条の規定により、１０番門脇直樹君、１１番山本優人君、１番笠原吉範君の３名を指名します。

日程第２、日程の追加についてを議題とします。

議事日程の追加につきましては、議会運営委員会に諮問し意見を求めていますので、その結果を議会運営委員長より報告願います。水木議会運営委員会委員長。

○議会運営委員会委員長（水木壽保君） おはようございます。議会運営委員会の水木でございます。

ご報告申し上げます。

当委員会では、本日、議長同席のもと、議会運営委員会を開催し、議事日程の追加について協議いたしました。

その結果、議案第１１５号を本日の日程に追加し、議題とすることに決定いたしましたので、ご報告申し上げます。

○議長（皆川鉄也君） お諮りします。ただいまの議会運営委員会委員長報告のとおり、議事日程を追加し、議題とすることにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 異議なしと認めます。したがって、議会運営委員会委員長報告のとおり議題とすることに決定しました。

日程第3、一般質問を行います。

順次発言を許します。2番伊藤一八君。

○2番（伊藤一八君） おはようございます。議席番号2番、伊藤一八です。

傍聴者の皆様には、寒い中、足を運んでいただきありがとうございます。

それでは、通告に従いまして一般質問をいたします。

八峰中学校では現在8種類の部活動があり、全ての生徒がいずれかの部に所属しています。3年生が部活動を引退した後の新人戦では、野球部、男子・女子バスケットボール部が他校との合同チームで大会に参加しました。生徒数の減少により1校単独で大会に出場するのも年々難しくなっております。生徒や保護者と話している時も、来年部員が増えたらどうなるのか、入らなかつたら廃部になるのか、クラブチームだったら最後まで一緒にできるのかなど、部員数の減少により学校部活動の存続や地域移行に向けてどう進めていくのか、とても関心があると感じております。

国では、地域のスポーツ・文化芸術環境において、学校単位から地域単位での活動に移行するため、有識者による検討会議提言や学校部活動及び地域クラブ活動のガイドラインを策定し、令和5年度からの3年間を「改革推進期間」と位置づけ、早期の地域移行の実現を目指している。

秋田県はこれを受け、令和5年7月に「秋田県における部活動地域振興計画」を策定した。県内の動向を見ると「部活動地域移行推進計画」を策定し進めている自治体もあるが、八峰町の現在の状況は。

1つ目に、現在、中学校部活動で外部コーチをお願いしている部活動はあるのか。

2つ目に、地域移行へ向けて、町内含め、近隣の市や町と今後どのように地域や関連団体と連携していくのか。

以上2点を踏まえ、どう取り組み進めていくのか、教育長の考えを伺います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの2番議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。鈴木教育長。

○教育長（鈴木洋一君） おはようございます。伊藤議員のご質問にお答えいたします。

中学校部活動の地域移行については、このたびの議員の質問にありましたように、国では令和4年12月に、少子化の中でも将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継

続して親しむことができる機会を確保することを目指し、令和５年度から令和７年度までの３年間を改革推進期間とし、地域との連携の在り方について示されたガイドラインを作成しております。

また、これを受け秋田県教育委員会では、令和５年８月に、誰もが身近でスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができる環境づくりを目指した、秋田県地域移行推進計画を作成したところです。

現在、八峰中学校の部活動は、スポーツ系が６種目、文化系が２種目のほか、学校部活動外ではありますが、能代市のスポーツクラブで活動する生徒もおります。さらに、部員数が少ない種目では、他郡市の他校と合同チーム編成を行うなど、単独で活動することが困難な部活動もあります。

議員ご質問の外部コーチにつきましては、今年度、八峰中学校から、男子バスケットボール部、女子ソフトテニス部、陸上競技部でそれぞれ１名ずつの計３名に依頼されております。

町では、こうした現状や県の推進計画を踏まえ、令和６年度より地域部活動推進検討委員会を立ち上げ、各種スポーツ団体や学校関係者、保護者等から広く意見をいただきながら協議を行い、八峰町部活動地域移行推進計画作成について検討しているところであります。

地域移行を進めるに当たっては、当面は学校部活動を維持し、部活動指導員配置による地域連携を進め、休日の部活動の地域移行を目指してまいります。

また、単独で進めることが難しい種目等については、他市町の団体等との連携を検討してまいります。

以上です。

○議長（皆川鉄也君）　２番議員、再質問ありませんか。２番伊藤一八君。

○２番（伊藤一八君）　まず今回の一般質問をした経緯なんですけれども、今現在、中学校に通ってる生徒や保護者、また新年度入学してくる児童、保護者の皆様から、秋田県、国で３年間で計画を進めるということになっています。それで保護者の皆様からは、３年後、部活動を完全に地域移行なのかとか、あまり何か浸透してないのかなっていうことで質問させていただきました。

まずはじめに１つ目の外部コーチの件なんですけれども、今現在、テニス部、陸上部、あと男子バスケット部に外部コーチがいる。私もまず推進委員にもなってますし、ＰＴ

A会長もやっているので、その辺は把握しているんですけども、今後、来年度も外部コーチそのまま引き続き継続して手伝ってもらえるのかってというのは、まだ分からないですか。その辺分かったらお願いします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの再質問に対し、当局の答弁を求めます。鈴木教育長。

○教育長（鈴木洋一君） 伊藤議員からの再質問にお答えいたします。

まずはじめに、地域移行、地域移行とこう話されていますが、この言葉の中には学校部活動の地域連携がまず1点、そしてその後に地域クラブへの移行という2つの意味があるんですが、私も含めて勘違いされている部分が地域移行という言葉だけが注目されているというところがあります。で、先ほどの答弁でもお話しましたが、まず八峰町は学校と地域が連携してお互いに地域の子どもたちを育てていきたいという方向で進め、そして平日は部活動として行うんですが、土曜日に地域の方々と一緒に生徒たちがスポーツや文化に取り組むっていう体制を目指してまいりたいと思っております。

あと、外部コーチと部活動指導員という言葉がありますが、外部コーチは今までと同じで外部の方々に部活動に来ていただいて実技指導をしていただく。で、今回の地域移行に関する部活動指導員については、技術指導だけでなく生徒指導、そして大会引率までも責任を持っていただく、そして子どもたちを育てていただくっていう違いがあります。

伊藤議員から質問ありました、今まで3名の方が外部コーチとして関わっていただいているんですが、来年度からは本人の了解を得れば外部指導員としてお願いしたい、学校の方ではお願いしたいと考えております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。2番伊藤一八君。

○2番（伊藤一八君） 先ほど答弁いただいた外部コーチですけども、入学してテニス部とかに入る生徒の皆さん、ほとんど未経験のまま、地域にスポ少の団体がないので外部コーチがいればとても、顧問の先生も指導経験のない先生が顧問になった場合とかもとても助かると思うんですよ。ですので是非来年度以降も継続して続けてもらえるように、協力の方よろしくをお願いします。

○教育長（鈴木洋一君） はい。

○2番（伊藤一八君） また、現在外部コーチはいないんですけども、野球や女子バスケ部、卓球などからの要望などはあるのでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの再質問に対し、当局の答弁を求めます。鈴木教育長。

○教育長（鈴木洋一君） 伊藤議員から質問ありました、ほかの部活動からの要望についてなんですが、現在、学校長からお話を聞いているのは、新たに女子バスケット部という要望が出ておりますが、来年度、人事異動でまたこう専門的な指導者が入ることによって学校の要望も変わってくると思うので、年度当初また校長の意見を聞きながら進めてまいりたいと思っております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。2番伊藤一八君。

○2番（伊藤一八君） ありがとうございます。また文化系の方で吹奏楽部とか、文化芸術部って書道とか美術系のことをやってる部活動もあるんですけど、そちらの方にも是非外部コーチでもOBの方々でもいいので声がけをしていただいて来ていただけると、吹奏楽は特に楽器を初めて使うという生徒も多いと思いますので、是非吹奏楽部の方とかにも外部コーチの方の検討をよろしくお願いします。

1つ目の質問は、次に2つ目の地域移行の方の近隣市町との連携のことなんですけれども、今回3年生が引退した野球部は全チームが合同チームで新人戦、大会行われました。で、女子バスケ部も男子バスケ部も合同チームでっていうことで、町内だけで地域移行進めていくのも大事だとは思いますが、やはり町外の能代山本全体で地域移行の方を進めて、クラブチームの方進めていくようなそういう近隣の町村との話し合いとかは行っているのでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの2番議員の質問に対し、当局の答弁を求めます。鈴木教育長。

○教育長（鈴木洋一君） 伊藤議員の再質問にお答えいたします。

先ほど地域連携と地域移行という言葉の説明いたしましたが、地域連携の定義の中に、学校部活動を行う場合に部員が少ない学校では、複数の学校と合同練習または合同で試合に臨むという定義があります。ですから、八峰中だけで試合等に出れない場合は、他の学校のチームと合同でやっていくということを今後も大切にしていきたいと思っております。

すいません、その後……

○2番（伊藤一八君） 話し合いを。

○教育長（鈴木洋一君） あ、はい。地域連携の話し合いに関しては、まず合同部活動に

ついでと、あとは八峰町で活動できない例えばバドミントンとか柔道の場合は、能代市の地域スポーツの方をお願いしながら生徒が通ってるという状況です。あと郡市内で地域クラブを立ち上げてどうするという話は、まだそこまでは進んでいないというのが現状であります。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。2番伊藤一八君。

○2番（伊藤一八君） まず現在、新チームは合同チームでやってるんですけども、これが来年、新入部員が入ってくれば、また春の大会、夏の大会と単独で出場することになります。で、また3年生が引退すると合同チームに戻ると。で、また再来年の春、入部してくると単独チームになる。これを続けてると、やはり勝利至上主義でもないんですけども、子どもたちの勝った時の喜びとかそういうのもあまりなくなっていくのかなという、部員数が多い学校がダントツで強くなるとかそういうことも考えられるのかなと思うので、是非、地域移行ではなくて連携ということで合同チームでそのまま継続して練習とか練習試合とかをしていくのもいいのかなというふうに思いますが、どう思いましたか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの2番議員の質問に対し、答弁を求めます。鈴木教育長。

○教育長（鈴木洋一君） 伊藤議員の質問にお答えいたします。

八峰中の校長さんの方からも、例えば女子バスケット部3校で合同チームを作って今まで練習して試合にも取り組んできたんですが、春になると部員が1年生が入ってきて単独チームの条件を満たすということで単独で出場なるわけですが、新人戦から今までこうやってきた仲間たちと夏の大会まで続けさせてやりたいというのは校長の思いではあるんですが、でも中体連の規定というものがありますので、そこにきちっと従って今後もチーム編成が行われると思います。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。2番伊藤一八君。

○2番（伊藤一八君） まあ教育長の答弁にもありましたとおり規定がやはりあるので、人数、部員が増えれば単独チームでの出場、大会に出場となるんですけども、やはり普段の練習とかそういうのはやはり3年生が引退すると部員数もどちらのチームも減って、また合同、一緒になるっていう場合も考えられますので、是非そこは他市町と話し合いをして、是非練習継続して、普段、3年生引退する前ですね、入部して新入部員が

入ってきてから部員数が増えてからでも練習などは合同でやっていけばいいなというふうに思います。また、その合同練習することによって部員数も増えるので、実践的な練習とかもすごい生徒にとってもプラスになると思うんですよ。だから是非大会とかは単独で出場になるんですけども、練習の方は合同でというような感じの流れに持っていけばいいなと思いますが、どうでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。鈴木教育長。

○教育長（鈴木洋一君） 伊藤議員から今提案がありました、単独で試合で進むに当たっても新年度になってから練習等で今までの繋がりを大切にしていければ、私も同感であります。ですから、今後校長にもいろいろ話しながら、子どもたちにとってよりよいスポーツ環境を整えてまいりたいと思います。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ありませんか。2番伊藤一八君。

○2番（伊藤一八君） 是非、新入生が入ってきて部員数が増えても合同練習とか進めていけるように、能代山本全体で協議して進めていってもらいたいと思います。よろしくお願いします。

○教育長（鈴木洋一君） はい。

○2番（伊藤一八君） 以上です。

○議長（皆川鉄也君） 答弁要りませんか。

○2番（伊藤一八君） 大丈夫です。

○議長（皆川鉄也君） これで2番議員の一般質問を終了します。